

科目名称 (Course Title)				担当教員(Instructor)	
環境学				矢口芳生 / 中尾誠二 / 塩見直紀	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
前学期	2 単位	1 年次	講義	無	科目等履修 ・ 聴講
授業の概要 (Course Description)					
<p>自然科学・人文科学・社会科学の知見を人間の生活との関係において講じ、人間の生活を取り巻く自然・地域・地球環境の密接な関係を明らかにし、人間と自然・環境との共生の必要性について学ぶ。</p> <p>講義で具体的に取り扱う内容は、地球温暖化・酸性雨・オゾン層破壊等の地球環境問題、公害・環境汚染問題、ごみ・水問題、企業の環境経営、環境教育等に及ぶ。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<p>自然科学・人文科学・社会科学の知見を総合的に応用し、生活のあり方を再考することにより、人間の生活を取り巻く自然・地域・地球環境との密接な関係に支障を生じさせないようにすることの重要性を理解するとともに、人間と自然・環境との共生の必要性について理解できるようにする。</p>					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	はじめに (矢口)				
第 2 回	地球環境、何がどう問題? (矢口)				
第 3 回	公害と環境汚染 (矢口)				
第 4 回	地球温暖化の科学と政治 (矢口)				
第 5 回	小括 (矢口)				
第 6 回	酸性化する大気と海洋 (塩見)				
第 7 回	石油は40年でなくなるのか? (塩見)				
第 8 回	オゾン層破壊がもたらすこと (塩見)				
第 9 回	生態系の危機 (塩見)				
第 10 回	小括 (塩見)				
第 11 回	あふれるごみ (中尾)				
第 12 回	水の危機の時代 (中尾)				
第 13 回	企業と環境経営 (中尾)				
第 14 回	環境教育の目指すもの (中尾)				
第 15 回	小括 (中尾)				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
<p>① 各回の講義内容について事前に予習をしておくこと</p> <p>② ニュースや新聞に絶えず目を向けておくこと</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
毎回配布する授業シート (50%) 小括時時の試験 (50%)	秀：必要なキーワードを過不足なく用いて、論理的に客観的な説明ができ、かつ、問題点を的確に指摘できている 優：キーワードを用いながら論理的に客観的な説明ができ、かつ、問題点を理解している 良：おおよその説明はできており、かつ、問題点を理解している 可：しくみや問題点の説明において、最低限の水準を満たしている 不可：しくみや問題点が説明できていない
テキスト (Textbook)	【書名】 新訂 地球環境の教科書10講 【著者】 九里徳泰・左巻健男・平山明彦 【出版社】 東京書籍 【出版年】 2014
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	適宜紹介する
備考 (Other Information)	3分の1以上 (6回以上) の欠席は、単位不可とする
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	各担当教員の研究室前に掲示したTel/Mail等へ連絡 もしくは在室時に直接面談